

令和5年5月17日
航空局交通管制企画課

世界初！！ 4カ国を跨ぎ、実際の旅客機を用いた試験飛行を実施します。

航空局は米国、シンガポール、タイの航空当局（計4カ国）と共同して、世界初となる実際の旅客機を用いた試験飛行（次世代航空交通システムに関する試験飛行）を実施します。6月12日、旅客機（787型機）が成田国際空港へ到着後、歓迎式典、機体見学、次世代航空交通システム及び脱炭素化に関する共同記者会見、署名などを行います。

＜次世代航空交通システム（TBO）により実現すること＞ ※TBO: Trajectory Based Operation（軌道ベース運用）
航空機の相互間隔を保ちながら、最適な経路と通過時刻を常に調整

- ① より安全で快適な飛行を実現
- ② 急な気象変化（積乱雲や火山噴火など）へスムーズに対応
- ③ 消費燃料の削減によるカーボンニュートラルへの貢献

◆スケジュール

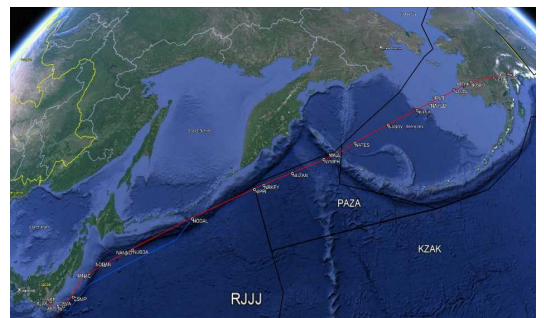
- ・経路：シアトル～成田～シンガポール～バンコク
- ・6月12日（月） 成田国際空港
（11:00頃 着陸予定）
11:00～13:00 機体見学、撮影
13:45～15:00 歓迎式典、記者会見、署名
- ・6月13日（火） 東京都（四ッ谷）
10:00～15:00 離陸前から巡航に移行するまでの試験飛行の行程を報道公開
（13:00頃 離陸予定）



運航予定のエコデモストレーター（787型機）
（画像提供：ボーイング社）

◆取材申し込みにあたって

- ・所属、名前（ふりがな）、生年月日、連絡先を以下のメールアドレスへご連絡ください
- ・1日目は、成田国際空港の立入手続きの関係上 **5月30日（火）17時まで**にご連絡ください
- ・2日目は、6月12日（月）までにご連絡ください



飛行予定経路（シアトル～成田）



※CARATS：

将来の航空交通システムに関する長期ビジョン

＜担当者＞

航空局交通管制部交通管制企画課
（CARATS事務局） 中野、松崎
代表:03-5253-8111（内線 51136・51104）
直通:03-5253-8739
Email: hqt-jcabanpd-kikaku@gxb.mlit.go.jp

MR TBO ～TBO Live Flight 2023～

次世代航空交通システムの実現への取組の一環として、航空局は米国、シンガポール、タイの航空当局（4カ国）と共同プロジェクト（MR TBO ※）を進めています。2年目の今年是世界初となる旅客機（787型機）を用いた試験飛行を実施します。

※MR TBO: Multi Regional Trajectory Based Operation
(多国間におけるTBOプロジェクト)

【1日目】

- ・日 時 : 6月12日(月) 09:30～15:00
- ・集合場所 : 第2駐車場ビル(南) 2階「P-3」会議室(成田国際空港)
- ・スケジュール :

| 時間 | 内容 | 場所 |
|-------------|-----------------------------|-----------|
| -09:30 | 集合 | 「P-3」会議室 |
| 09:30-10:00 | 事前説明 | |
| 10:00-10:45 | バス移動 | |
| 10:45-12:30 | 集合写真撮影、機体見学 ※11:00頃 着陸予定 | スポット 802番 |
| 12:30-13:00 | バス移動 | 極光の間 |
| 13:00-13:45 | 昼食休憩 | |
| 13:45-13:50 | 開会 | |
| 13:50-14:00 | MR TBO 概要説明 | |
| 14:00-14:15 | ボーイング社 プレゼンテーション | |
| 14:15-14:55 | 共同記者会見、デモフライト達成宣言、署名 | |
| 14:55-15:00 | 閉会 | |

【2日目】

- ・日 時 : 6月13日(火) 10:00～15:00
- ・集合場所 : コモレ四谷タワーコンファレンス(東京都四ッ谷)
- ・スケジュール :

| 時間 | 内容 | 場所 |
|-------------|----------------------------|-------------------------|
| -10:00 | 集合 | コモレ四谷 タワーコンファ レンス |
| 10:00-10:10 | 開会 | |
| 10:10-11:10 | MR TBO プロジェクト説明 | |
| 11:15-14:25 | 試験飛行の行程を中継 ※13:00頃 離陸予定 | |
| 14:50-15:00 | 閉会 | |

※急な悪天候、イレギュラー発生時はスケジュールが変更される可能性があります。

(参考)

試験飛行に関するボーイング社のプレスリリース



News Release

ボーイング ジャパン
〒100-0005
東京都千代田区丸の内 1 丁目 6-6
日本生命丸の内ビル 20 階
www.boeing.jp

ボーイング、2023 年のエコデモンストレーター計画を発表

- 複数機による飛行試験でサステナビリティのための技術開発を加速
- 787-10 ドリームライナーを使用した「ボーイング・エコデモンストレーター・エクスプローラー」初号機では、4 カ国と協力して運航効率試験を実施
- 現行(777 型機)エコデモンストレーターでは、2023 年中に 19 の新技術を実験予定

2023 年 4 月 27 日 シアトル発 - ボーイングは本日、2023 年のエコデモンストレーター・プログラム計画を発表しました。ボーイングの 777 型機エコデモンストレーターで 19 の技術の評価すると同時に、特定の技術に関する試験に特化した「エコデモンストレーター・エクスプローラー」を新たに追加します。ボーイングは、持続可能性と安全性を追求するイノベーションをさらに加速するため、同プログラムを継続すると同時に拡大していきます。

エコデモンストレーター・エクスプローラー初号機は 787-10 ドリームライナーを使用し、6 月にシアトルを出発して、東京、シンガポール、バンコクへの航行中に飛行試験を実施します。試験の目的は、グローバルな領空にわたる飛行経路を調整することによって運航効率が高まり、ひいては航空機の燃料使用量および CO₂ 排出量が最大 10%削減可能になることを実証することです。ボーイングと米国、日本、シンガポール、タイの管制業務提供機関 (ANSP: Air Navigation Service Provider) は、複数の地域にわたる最適な飛行経路を実現するために、すでに搭載済みの機能を活用して天候、航空交通量、空域閉鎖といった条件を考慮しながら、共同で航路を実施させます。また、同機は各地で可能な限り最大の混合率による持続可能な航空燃料 (SAF) を使用して航行します。

ボーイングは 777-200ER 型機を使用した現行のエコデモンストレーターでも、19 の技術について試験を実施します。試験予定の技術には以下のようなものがあります。

- リサイクル炭素繊維 40%、バイオベースの原材料から作られた樹脂 60%から成るサステナブルな素材を採用した貨物室の壁パネル
- 100%SAF に対応する燃料残量計測光ファイバーセンサー
- Jeppesen FliteDeck Pro の機能の一つである「スマート・エアポート・マップ」を搭載した電子フライトバッグ (EFB: Electronic Flight Bag) アプリケーション。空港のコンテキストデータをビジュアル化することで運航コストの低減と安全な航空機の地上走行を支援
- すべての飛行試験において、現地で入手可能な最大の混合率による SAF を使用

ボーイングはエコデモンストレーター・プログラムを 2012 年に立ち上げ、新しいテクノロジーを実験室だけでなく運航環境の中で試験することでイノベーションを加速してきました。2023 年の計画

を含めると、同プログラムで実験してきた技術は約 250 種類に上り、航空業界の脱炭素化、運航効率の改善、安全性と乗客体験の向上に寄与しています。試験済み技術のおよそ 3 分の 1 は、すでにボーイングの製品やサービスにつながっています。

2023 年のエコデモンストレーター、およびこれまでのエコデモンストレーターの詳しい情報は、下記サイト（英語）をご覧ください。

boeing.com/ecoDemonstrator

また、ボーイングのサステナビリティへの取り組みやパートナーシップについては、下記サイト（英語）をご覧ください。

boeing.com/principles/sustainability



写真左：2023 年 6 月に運航効率試験を実施する、787-10 型機を使用したエコデモンストレーター・エクスプローラー初号機

写真右：2 年目を迎えた現行の 777-200ER 型機エコデモンストレーター

ボーイング ジャパン Twitter 公式アカウント (@BoeingJapan)

<https://twitter.com/BoeingJapan>

この件に関するお問い合わせ先

ボーイング ジャパン広報
(TEL: 03-5223-2028 / FAX: 03-5223-1900)